

指導教員名	山口 志郎
-------	-------

活動区分	情報分析型	連携先	企業

## ～ NTTドコモ レッドハリケーンズ大阪 観戦者調査プロジェクト ～

### 活動の様子



### 企画・活動概要

本社会連携では、NTTドコモレッドハリケーンズ大阪と協働しながら、スタジアムでの観戦者調査を行い、集客増に向けた基礎資料を得ることを目的としている。12月12日より活動を開始し、1月16日NTTドコモレッドハリケーンズ大阪とミーティングを行いながら、学生自らアンケートを設計し、3月12日に神戸総合運動公園ユニバー記念競技場にてアンケート調査を実施した。2023年度は、4月1日にヤンマースタジアム長居にて再度調査を行い、その後収集したデータを分析並びに報告書を作成すると共に、NTTドコモレッドハリケーンズ大阪に対して、観戦者調査の報告会を行う予定である。

### 経緯・背景・目的

流通科学大学では、2022年12月16日にNTTドコモレッドハリケーンズ大阪と、教育・スポーツ振興に関する連携協定を締結した。本協定は、教育・研究・医療・文化およびスポーツの振興、人材育成、社会貢献などの分野において相互に協力し、双方の発展と充実に寄与することを目的としている。本社会連携では、連携協定の一環としてNTTドコモレッドハリケーンズ大阪におけるスタジアムでの観戦者調査を通じて、マーケティング分析のサポートを行うことにある。



### 取り組む課題

ジャパンラグビーリーグワンは3つのDivisionに分かれており、NTTドコモレッドハリケーンズ大阪はDivision3に在籍している。2021年度までチームはDivision1に在籍していたが、母体企業のNTTドコモの編成上の理由により、2022年度はDivision3からの戦いとなっている。Division1に比べ、観戦者数が減少するなど運営上の課題を抱えており、今後どのようなファンを獲得し、持続可能なチームにしていくが課題である。そのため、今回の観戦者調査を通じて集客増に向けた基礎データを獲得することで、今後のマーケティング戦略の立案が可能となる。

### 本学(学生)の役割

ゼミ生の役割はスタジアムでの観戦者調査に向け、アンケートの設計及び質問項目を考案すると共に、3月12日に神戸総合運動公園ユニバー記念競技場においてアンケートの回収を行うことであった。当初はQRコードの読み取りによるオンラインアンケートのみを計画していたが、観戦者の属性や先方とのミーティングを踏まえ、最終的にオンラインと紙の両方でハイブリットに調査を実施することとなった。スタジアムでのアンケート調査では当日配布するマッチデープログラムと共に、紙のアンケート(QRコード付き)を袋に封入し、入場口で配布すると共に、試合終了後退場口にてアンケートの回収を行った。



### 活動結果・成果・学生が成長した点・学生が身につけた能力

今回プロジェクトに参加したゼミ生は2回生であったことから、アンケート調査自体初めての経験であった。そのため、アンケート調査の方法や質問項目の設定を学ぶと共に、NTTドコモレッドハリケーンズ大阪のチームマネジメントやリーグワンについて先方からレクチャーを受けることにより、多くの学びを得ることができた。また、当日の調査では、観戦者と直に話をしながらアンケート調査を行うことにより、コミュニケーション能力の向上にも繋がった。今後は得られた調査データを基に、チームへのマーケティング提案を行うなど、本プロジェクトを通じて学生の企画力向上にも寄与することが期待される。



### 指導教員および関係者の紹介

#### <指導教員>



人間社会学部  
人間健康学科  
准教授  
山口 志郎 (ヤマガチ シロウ)  
  
<専門・担当科目等>  
スポーツマネジメント、  
イベントマネジメント、  
スポーツツーリズム

#### <関係者・企業等>

NTTドコモ レッドハリケーンズ大阪  
プロモーション  
オロ 将太 (サイグチ ショウタ)